

“白馬のまちづくり”地域づくり構想

“白馬のまちづくり”全体構想の将来都市構造及び道路網構想を踏まえ、市街地の特性や都市の形成過程に配慮しつつ、具体的な地域づくり構想については、次のようになります。

1) 地域づくり構想の基本方針

南部においては、国道148号沿いに市街地が形成されており、神城駅周辺の市街地を地域の生活拠点として、各集落との交通アクセスの利便性確保に努めるとともに、当地域には、大規模な集団優良農地が内在し、白馬村の貴重な農業生産基盤として積極的な維持保全に努めます。

中部においては、白馬村の中心となる白馬駅周辺の中心市街地が形成されており、都市サービス機能の中核として都市機能の強化と土地利用の活性化を図ります。

なお、当地域には、集団優良農地が存在しており、オリンピック道路の整備にともない無秩序な宅地化が懸念されていることから、都市内の良好な緑地として、必要性のあるところは白馬村の貴重な農業生産基盤として積極的な維持保全に努めます。

北部においては、国道148号沿いと岩岳スキー場周辺に市街地が形成されており、信濃森上駅周辺の市街地を地域の生活拠点として、各集落との交通アクセスの利便性確保に努めます。

水と緑のまちづくり拠点及びゾーンの整備と既存の施設と豊富な自然環境のネットワーク化による活用を図り姫川自然公園構想を推進し、特色あるまちづくりを図ります。



2) 地域づくり構想の将来像

- ・大町市や松本市方面及び長野市方面との交通特性を活用したまちづくり
- ・小谷村や日本海側方面との交通特性を活用したまちづくり
- ・白馬駅の交通利便性を最大限に活用したまちづくり
- ・白馬五竜スキー場や白馬八方尾根スキー場、白馬岩岳スキー場等を中心とする地域の特色ある観光の街づくり

- ・八方地区やエコーランド地区等の主要施設を中心とする観光市街地づくり
- ・観光市街地と白馬駅の中心市街地を連携する白馬のブランドづくり
- ・北アルプス白馬連峰や白馬八方尾根スキー場、ジャンプ競技場の眺望のある景観づくり
- ・水と緑のまちづくり拠点及びゾーンを活用したまちづくり
- ・北部のスポーツ・レクリエーション活動を主体とした観光の街づくり
- ・南部の大規模な集団優良農地を維持保全するための農のあるまちづくり
- ・中部の都市内緑地を維持した潤いのある水と緑のまちづくり

地域づくり構想方針図

